

# 千代田図書館

千代田区立  
千代田図書館  
情報誌

|      |    |
|------|----|
| さあ   | …… |
| 図書館に |    |
| いこう。 |    |

vol.11

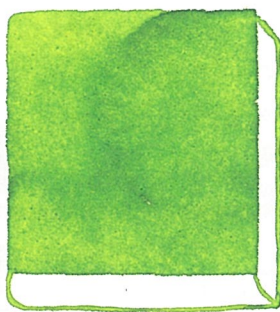
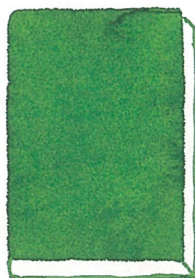
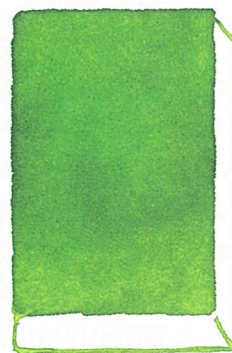
また違った景色が見えてくるでしょう。

立ち止まって本をめくれば

ある時代を追想してみる。

歴史のあるものを見ながら

佇まいが変わらないものや



Web情報もあわせて調査研究

館内インターネット環境マップ

コンシェルジュがゆく

創建時の姿を現した東京駅

東京駅編

表紙 小川 哲



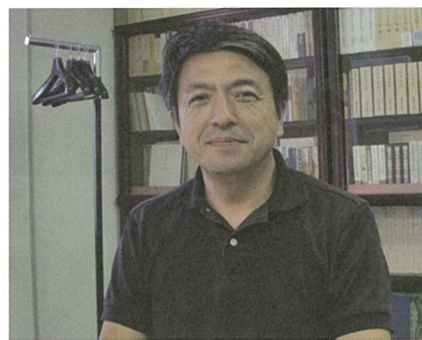
# 千代田探し

さまざまな分野で活躍中の  
“千代田人”に聞きました

日本古書通信社  
『日本古書通信』  
編集長 **樽見 博**

たる み ひろし  
日本古書通信社『日本古書通信』  
編集長 **樽見 博**

1954年、茨城県生まれ。1979年、日本古書通信社入社。現在、『日本古書通信』編集長。主な著書に『古本通』『三度のメシより古本』『古本愛』（いずれも平凡社刊行）。



まもなく通巻1000号を迎える『日本古書通信』。全国の古書に纏わるあらゆる情報を伝え続けているその内容は“出版”の歴史とも言えます。20代で入社した樽見氏が古書業界の著名人たちから学んだことや、古書への思いを語っていただきました。

—『日本古書通信』通巻一〇〇〇号 変わらないことの大切さ—

昭和九年一月に創刊された『日本古書通信』が、この十一月で通巻一〇〇〇号を迎える。兵庫県明石出身の八木敏夫が、神保町の老舗古書店一誠堂書店で修業後に独立、日本古書通信社を創業、本誌を創刊させた。弘文荘・反町茂雄氏はじめ業界有志のバックアップもあった。当初の三年間は、東京を中心に各地の古本相場を知らせる業界誌であったが、昭和十二年からは、一般向け書物雑誌に転換、木村毅、柳田泉、斎藤昌三など明治文化研究会のメンバーがブレインとなった。敏夫をサポートしたのは次弟八木福次郎で、昭和八年に上京、地理学書の古今書院で出版を学んでいた。敏夫は、順次、特価本卸・販売、古書売買、出版業と事業を拡大させ、現在の八木書店を育てた。福次郎は、古今書院時代から、志茂太郎の『書窓』や、斎藤昌三『書物展望』の会員になるなど、趣味人だった。この兄弟の二つの側面が作用して、実に七十八年間、一〇〇〇号に及ぶ生命力を吹き込んだのだと思う。現在は敏夫の子息で、八木書店社長の壮一と乾二兄弟が、本誌の経営を引き継いでいる。

福次郎は昭和三十八年、兄から独立して、『日本古書通信』の刊行を続け、本年二月、九十六歳で亡くなるまで、その編集に従事した。人呼んで「ミスター神保町」、自らは「生涯現役」をモットーとした。この文章も、福次郎が書くべきものだが、記念号を見ずに旅立ってしまった。やむなく、不肖の弟子である私が代役をつとめることになった。

私が入社したのは、昭和五十四年一月で、以前の東京古書会館の三階に事務所があった。当時福次郎は六十四歳で、おじいさんに見えたが、今年私は五十八歳だから、それほど変わらなくなってしまった。最初に与えられた仕事は、創刊から、近く刊行の六〇〇号までの総目次の作成だった。早くやれとは言われなかった。つまり、『日本古書通信』のこれまでの仕事を知っておくようにということなのだ。しかし、二十四歳の無学な人間には、猫に小判に等しかった。何となく古本の世界が分かるまで、それから充分、十年間の編集実務が必要だった。福次郎は、創刊から亡くなるまで編集を通して、本の知識を積み続けたのだから、四十年近くも後追いの私が追いつくはずがない。師匠というのは、ついに追い越せないものと知ったのは、福次郎の死によってだった。

『日本古書通信』は、地元にも古本屋がない読書家たちに喜ばれてきた。地方に住んでいても、全国の古本屋選りすぐりの珍本貴重書を、本誌広告を通して購入することが可能だったからだ。古本屋にとっても、安い料金で商品を目録販売できる便利な媒体であった。読者も古本屋も、前半の記事で古本に関する知識を得ることが出来、場合によっては自分で発見した珍本について本誌に発表することも出来た。いわば、古本好きのネットワークを本誌は作っていたのだ。古本屋と本好きの客が、店先で数時間も本について語り合う、この人の温もりのある、ゆったりした贅沢な時間を、本当の文化という。その中に本誌があった。

趣味的な雑誌の継続にはパトロンが必要である。本誌にとってのパトロンは第一に古書業界であり、全国の古本ファンである。古本ファンと古書業界あつての本誌だ。ネット社会となり、人々の情報収集方法が大きく変化した。本誌の役割、使命にも当然変化が必至だ。でも、時代に迎合し、従来の姿勢を崩そうとは思わない。出版はある種情報を売る商売だが、古本業は古本・古書という物を売る商売である。物はデジタル化出来ない以上、古本文化のあり方は基本的に変わらない。ゆえに本誌も変わらない。「古書店と読者を結ぶ趣味と実益の雑誌」が本誌のモットーである。芯を曲げないことが大切であることを、私はこの仕事の中で学んで来た。少しでも長く本誌を継続させるのが私の仕事だと心得ている。古書の醸し出す香気をこれからも伝えていきたい。よろしくご支援のほどお願いいたします。



『日本古書通信』創刊からの合本





# 館内で使えるインターネット。

千代田図書館の館内では、3つの方法でインターネットにアクセスすることができます。図書資料だけでなく、インターネットも利用してスムーズな調査・研究をお進めください。

※パソコンをご利用の際は、周りの方のご迷惑にならないよう、静かにキーボードをお使いください。

## ■ 有線LANを使う

デスクタイプの82席(キャレル席含む)には、それぞれLANケーブルと電源の接続口を完備しています。ご自身でお持ちになった端末で、安定したインターネットをご利用ください。



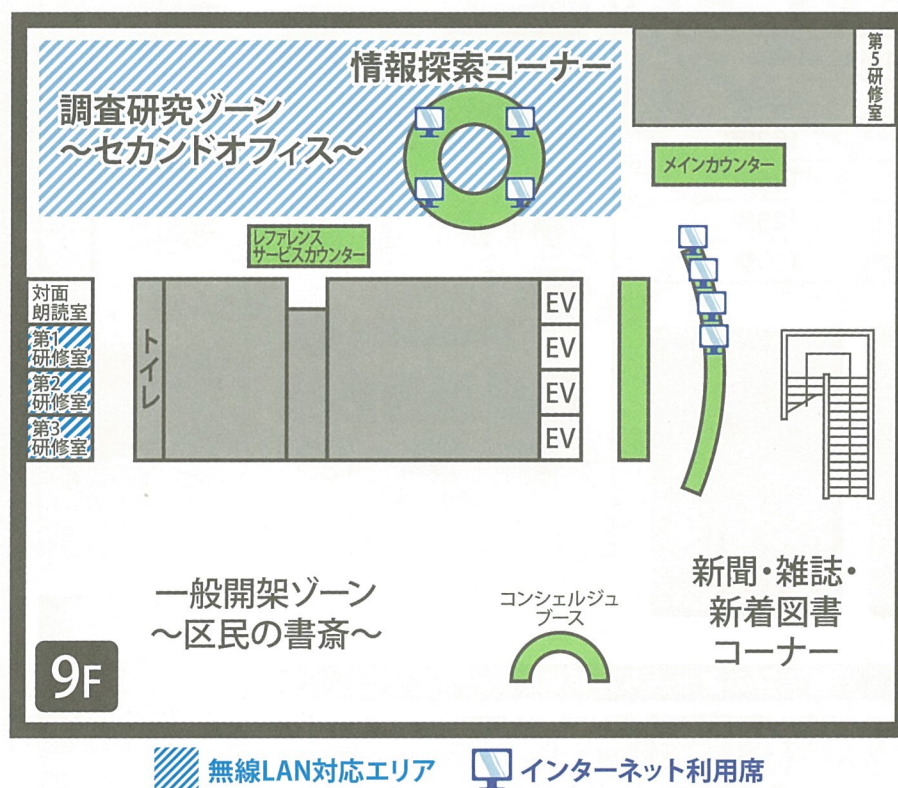
※LAN ケーブルは  
メインカウンターで  
貸し出しています。  
(数に限りあり)



## ■ 無線LANを使う

メインカウンター側“調査研究ゾーン”付近と研修室内(第5研修室を除く)では、無線LANが使えます。ご自身でお持ちになった無線LAN対応の端末でご利用ください。

※同時アクセスが多い場合は、繋がりにくいことがあります。



## ■ インターネット利用席を使う

インターネットを利用するためのパソコンを設置した席が8席あります。

【利用について】1日1回60分まで

※貸出券をお持ちになってメインカウンターで手続きください。

※次にお待ちの方がいない場合は30分延長ができます。

※ExcelやWord、ゲームやショッピング、メモリーカードの使用などにはご利用になれません。

※プリントアウトサービスは行っておりません。(オンラインデータベースは除く)

コレも役立つ!

### ① Web上の確かな情報もレファレンスサービスで入手

あるテーマや事柄についてWeb 検索をする際に、確かな情報を入手するコツをお教えします。業界の動向や企業の情報をお調べの際も、レファレンスサービスカウンターでお気軽にお尋ねください。

### ② 電子書籍が読める

館内のインターネット環境で千代田Web図書館にアクセスすれば、どなたでも電子書籍を読むことができます。(千代田Web図書館を図書館外で利用できるのは、区内在住・在勤・在学の方のみです。)

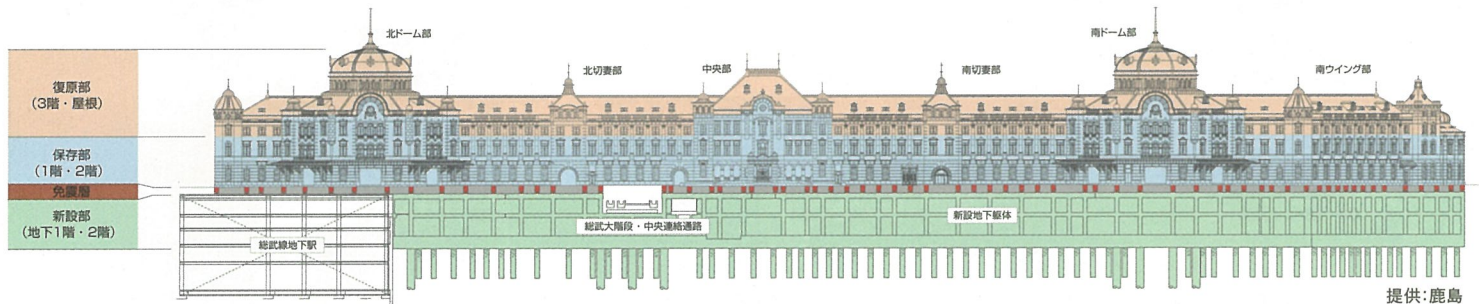
千代田Web 図書館 <https://weblibrary-chiyoda.com/>





# 東京駅丸の内駅舎の景色

2012年10月、東京駅丸の内駅舎の保存・復原工事が終わり、1914年の創建当時の姿を現しました。今回は東京駅とその周辺にある建物やお店などをご紹介します。大正から昭和初期の建築と、現在のオフィスビル群の融合した風景を楽しみながら歩いてみてはいかがでしょうか。



## 東京駅丸の内駅舎

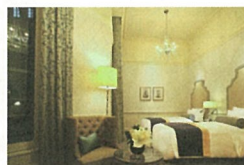
1914年創建の東京駅丸の内駅舎は、明治を代表する建築家・辰野金吾が設計した鉄骨煉瓦造りの建物です。当時の建設では、杭打ちや鉄骨を建てる作業以外は、大半が職人による手作業で行われました。今回の保存・復原でも、外部建具以外は当時の仕様や工法を採用し、漆喰や擬土塗などの左官や、銅板葺の板金技能

などを活かしています。皆さんが良くご存じの姿は、創建時とは違ったものでした。戦災で屋根などを焼失したため、戦後の再建時に3階建から2階建に修復されたためです。その後、2003年に国の重要文化財として指定され、2006年から始まった保存・復原工事により、3階部分が復原され、創建当時の姿を取り戻しました。

## 1. 東京ステーションホテル&東京ステーションギャラリー

駅舎に併設するホテルとギャラリーも姿を新たにしました。1915年に開業した東京ステーションホテルは、川端康成や松本清張など多くの文人が滞在して執筆を行っていました。この度一新した客室は上品な設備で、名門ホテルとしての気品を感じます。また、東京ステーションギャラリーでは、復原工事完成記念展「始発電車を待ちながら」を2013年2月24日まで開催。重厚な建物内で東京駅や鉄道をテーマにした様々なアート作品に触れることができます。

東京ステーションホテル TEL 03-5220-1111 (代表) HP [www.tokyostationhotel.jp](http://www.tokyostationhotel.jp)  
東京ステーションギャラリー TEL 03-3212-2485 (代表) HP [www.ejrcf.or.jp/gallery/](http://www.ejrcf.or.jp/gallery/)



ホテル客室



ギャラリー

## 2. 東京中央郵便局

東京駅丸の内駅舎の竣工から17年後の1931年に竣工した東京中央郵便局舎。局舎の再整備事業に伴い、一時移転していましたが、今年5月末に局舎を一部保存したJPタワー内に戻ってきました。特徴的な八角形の柱や壁に使用されていた黒い大理石は、創建当時と同じ位置に保存。滅失していた竣工当時の照明やモザイクタイルなども復元的に整備され、東京駅舎とともに昭和初期の東京駅前の面影を残しています。



## 3. 大丸東京店

10月5日に大丸東京店もリニューアル。食品フロア『ほっぺタウン』には日本初・百貨店初のお店が多数出店。右にも左にもお弁当が並ぶ全長60mの“お弁当ストリート”や、男性向けの肉主体ガッツリ系お弁当を揃えた“お肉の細道”も新設。東京下町の名物と菓子から、電車やオフィスで手軽に食べられるN.Y.有名デリのサンド系アイテムを集めたお店など、東京駅に隣接する百貨店ならではの展開です。

TEL: 03-3212-8011 (代表) HP [www.daimaru.co.jp/tokyo/](http://www.daimaru.co.jp/tokyo/)



## 東京駅を知る オススメの3冊

『東京駅歴史探見』  
長谷川章・三宅俊彦・山口雅人  
JTBキャンプックス  
鉄道関係に詳しい3人の著者が、東京駅創建からの歴史を、絵葉書や写真などと共に紹介。

### 『東京駅はこうして誕生した』

林章  
ウェッジ  
東京駅ができるまでの経緯や、駅を中心とした都市の形成などを、鉄道の歴史から探究した一冊。

### 『八角屋根の東京駅赤レンガ駅舎』

エッセイ  
エッセイ  
東京大空襲によって失われた屋根部分の修復の際に造られ、今回の復原工事によって失われた八角屋根に焦点を当てた写真集。



# 追跡する出版検閲の実態 ～千代田図書館蔵 内務省委託本～

戦前期、すべての出版物は内務省での検閲が義務付けられていました。検閲の結果、内容に何らかの問題があり、発売頒布禁止処分になった“発禁本”と呼ばれる本をご存じの方も多と思います。そのような処分が下されるか否かを判断する検閲の大きな柱は、その本が世に出たときに“安寧秩序に反するか”や“風俗を壊乱するか”ですが、詳細な基準は具体的に説明されていません。

千代田図書館には、当時、実際に検閲官がチェックのために用い、結果として検閲をパスした本約2,300冊が残されていました。それらを当館では“内務省委託本”と呼び、調査研究を進めています。

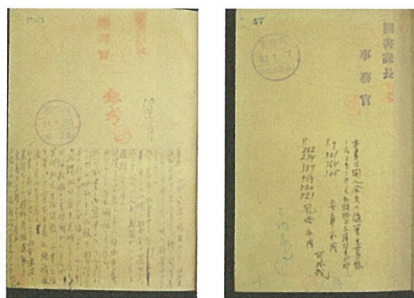
内務省委託本は検閲をパスした本なのですが、そのような本にも検閲官による書き込みが残っていました。なぜ検閲に使われた本が当館にあるのか、また、それらの本からどのような事実が解明されるのかなどを簡単にお伝えします。

## なぜ千代田図書館にあるの!?

検閲本が内務省で保管できない膨大な数になったため、措置の一つとして当時東京市立の図書館4館に、その地域に合った分野に分けて委託されたようです。当時からこの近辺には教育機関が多かったためか、下記のような分野が目立ちます。

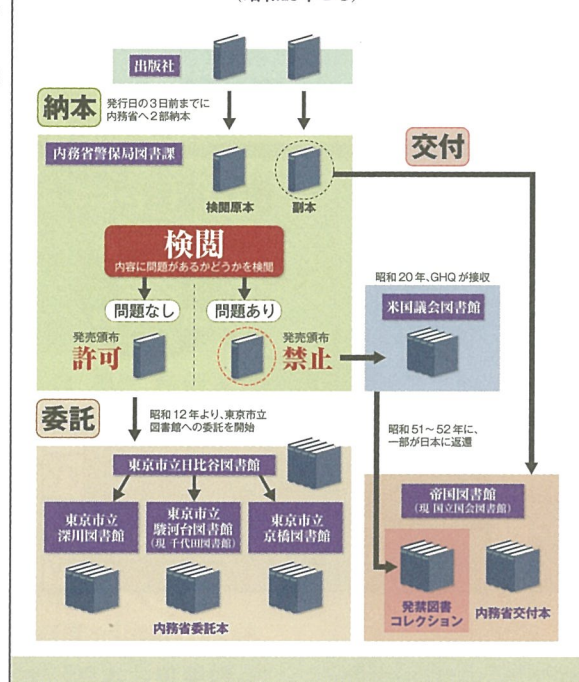
所蔵分野上位5位(日本十進分類法二次区分)

|    |        |      |
|----|--------|------|
| 1位 | 医学     | 435冊 |
| 2位 | 伝記     | 162冊 |
| 3位 | 日本史    | 136冊 |
| 4位 | 地理・紀行  | 125冊 |
| 5位 | 図書・書誌学 | 110冊 |



## 検閲に使用された図書のゆくえ

(昭和13年ごろ)



## 検閲官の書き込みを発見!!

検閲をパスした本(=出版が許可された本)にも、検閲官によるコメントや線引きなどの書き込みが残されています。書き込みのある本は他館よりも圧倒的に多く、約340冊が発見されました。その書き込みからは、検閲官が問題視した箇所を具体的に知ることができます。中には検閲官の個人的な読後感が書き込まれた本もあり、検閲官の人間らしい一面が窺えます。



## 調査を進めるとこんなことがわかる!

調査研究が進むことで、まだまだ謎が多い検閲の実態が見えてきます。例えば“発禁本(出版不可)”と“内務省委託本(出版可)”の本を様々な観点から比較することによって、どのような文言や図版だと許可されなかったのかなど、その境界線がより鮮明になってきます。

検閲官による書き込みなどを詳しくご覧になりたい方は下記の資料をご参照ください。

- 『内務省委託本関係資料集』2011年3月31日発行 当館にて販売中(1,000円/数量限定)※館内閲覧可
- 『内務省委託本調査レポート』毎月発行予定 当館にて無料配布中またはホームページにて閲覧可

※2013年1月頃に企画展示やDVDの発売を予定しています。

詳しくは、ホームページTOP「施設案内」▶「貴重な蔵書(閉架書庫)」内をご覧ください。

緑の図書館  
Biblioteko en Arbaro  
作: 小林エリカ KOBAYASHI Erika



## おとも読みたい絵本

『グランパ・グリーンのお庭』

レイン・スミス/作 青山南/訳(BL出版)



人が生きた証はどこに残るのでしょうか。おじいさんは庭木を彫刻的に仕立上げるトピアリー作りの名人でした。おじいさんが様々な形に剪定したトピアリーは、おじいさんの人生のストーリーを表しています。生まれ育った農場、はじめてのキス、戦争へ行ったこと、結婚…。そして、本書の語り手はおじいさんのひ孫の男の子。物忘れするようになったおじいさんと一緒にいる男の子の心の中には、おじいさんの人生が刻まれていきます。おじいさんの庭の中にいると、いろいろな出来事がとても意味のあることのように思えてくるから不思議。人生の価値を教えてくれる1冊です。



# ? インフォメーション

## お知らせ

### ●この秋、『日本古書通信』が1000号を迎えます。

“古本屋と読者を結ぶ趣味と実益の雑誌”をキャッチフレーズに、古書に関する様々なニュースを77年間伝え続ける『日本古書通信』。その記念すべき1000号が11月に発行されます。また、ホームページ内にも「編集長日誌」や「神保町のニューフェイス」、個人が探している本を掲載する「探究本」コーナーなど情報が盛り沢山です。どちらも是非ご一読ください。

### 月刊 日本古書通信

- ・各地で発行された特殊文献や古書店の紹介
  - ・全国の古書店主のエッセイや古書愛好家による連載記事
  - ・珍本稀書満載の全国古書店の通信販売目録や即売会情報
- 発行 株式会社日本古書通信社  
価 格 700円(税込み)

購入は、電話(03-3292-0508)

または ホームページ([www.kosho.co.jp](http://www.kosho.co.jp))より。

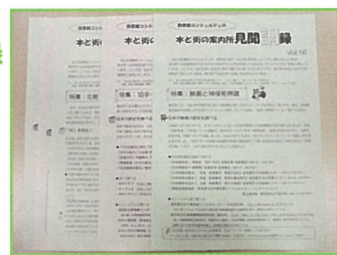


### ●コンシェルジュが作る特集紙『本と街の案内所見聞調録』を配布中。

映画、路面電車、怪談、化粧…。神保町にある“本と街の案内所”へ出張しているコンシェルジュが、案内所でお客様からいただいた質問をもとに、様々なテーマの特集ペーパーを作成しています。本やミュージアムの情報などを、豆知識と共にお伝えいたしますので、お役立てください。

### 図書館コンシェルジュの本と街の案内所見聞調録

配布場所  
コンシェルジュブース他/  
年6回発行



### ●「ちよびたブログ」で楽しい情報をお届けしています。

イベントやセミナーの報告、それに関する本の情報なども合わせてお届けしているちよびたブログ。たくさんの写真やミニ知識とともに月5回程度更新していますので、時々覗いてみてください。閲覧は千代田図書館ホームページ内のアイコンからどうぞ。



## ご利用案内

### ■千代田図書館

千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10F  
03-5211-4289・4290

開館時間 [月～金]10:00～22:00 [土]10:00～19:00  
[日・祝・12/29～12/31]10:00～17:00  
休館日 第4日曜日/1月1日～1月3日/特別整理期間

### ■昌平まちかど図書館

千代田区外神田3-4-7  
03-3251-5641

開館時間 [日～土]9:00～20:00 [12/29・30]9:00～17:00  
休館日 第2日曜日/12月31日/  
1月1日～1月3日/特別整理期間

### ■千代田区男女共同参画センター

MIW(ミュウ)情報ライブラリ  
千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F  
03-5211-8845

開館時間 [月～金]9:00～21:00 [土]9:00～17:00  
休館日 日曜日/祝日/特別整理期間/年末年始

### ■日比谷図書文化館

千代田区日比谷公園1-4  
03-3502-3340

開館時間 [月～金]10:00～22:00 [土]10:00～19:00  
[日・祝]10:00～17:00  
休館日 休館日 第3日曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間

### ■神田まちかど図書館

千代田区神田司町2-16  
03-3256-6061

開館時間 [日～土]9:00～20:00 [12/29・30]9:00～17:00  
休館日 第3日曜日/12月31日/  
1月1日～1月3日/特別整理期間

### ■千代田Web図書館

<https://weblibrary-chiyoda.com>

※電子図書の貸出・返却ができます。千代田区内在住・在勤・在学の方がご利用になれます。

### ■四番町図書館

千代田区四番町1  
03-3239-6357

開館時間 [月～金]9:00～20:00 [土]9:00～19:00  
[日・祝・12/29・30]9:00～17:00  
休館日 第1日曜日/12月31日/1月1日～1月3日/特別整理期間

### ■ちよだパークサイドプラザ区民図書室

千代田区神田和泉町1  
03-3864-8931

開館時間 [月～土]9:00～19:00 [日・祝]9:00～17:00  
休館日 第3日曜日/特別整理期間/年末年始

## ご利用について

- ・千代田区内在住・在勤を問わず、どなたでもご利用になれます。図書などを借りるには、「貸出券」が必要です。ご住所とお名前が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)をお持ちください。
- ・「貸出券」は千代田区内のすべての区立図書館(室)で共通です。

### 貸出数(全館合計)

|           | 区内在住者  | 区外在住者 |                                                        |
|-----------|--------|-------|--------------------------------------------------------|
| 図書・紙芝居/雑誌 | 10冊2週間 | 5冊2週間 | 予約がない場合に限り、貸出期間内に1回のみ1週間延長することができます。返却期限の当日までにご連絡ください。 |
| CD        | 3点2週間  | 3点2週間 |                                                        |
| DVD/ビデオ   | 2点2週間  | 2点2週間 |                                                        |



さあ、図書館にいこう。

## 千代田区立千代田図書館

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10F  
TEL:03-5211-4289・4290

<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp> <http://mobile.library.chiyoda.tokyo.jp>

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

千代田図書館情報誌 vol.11 発行日:2012年10月 発行元:千代田区立千代田図書館



携帯に簡単アクセス



このパンフレットは、ノンVOCインキで印刷しています。